

しなのきプランⅡ

概要版 (R6)

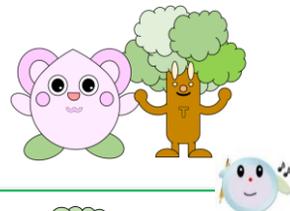
協働



生きる力を育成する
学校づくりの推進

長野市教育基本理念

「明日を拓く深く豊かな人間性の実現」



目指す子どもの姿

自ら学び 共に育つ

～ウェルビーイングの実現～



子どもたちの【自学自習の資質能力】の伸張を支援

学習観・子ども観の転換



未来プロジェクト

発達段階に応じた
教育の推進

絆プロジェクト

インクルーシブな
学校づくりの推進

安全・安心プロジェクト

安全・安心で健やかな
成長を支える環境の整備

充実プロジェクト

教職員の資質・能力の向上



「ICTの有効活用」「家庭・地域・学校・企業による協働」
⇒社会に開かれた教育課程の実現

【子どもを観る】 【子どもの声を聴く】 【子どもと対話する】



【自学自習の資質能力】

みらい



じりつ



きずな



しなのきFinderにより子どもの状態を把握する
学習観・子ども観の転換

しなのきプランⅡ 策定の背景

第三次長野市教育振興基本計画（R4～R8）

長野市教育基本理念 「明日を拓く深く豊かな人間性の実現」

キーワード 協働

基本的方向1 生きる力を育成する学校づくりの推進

学校は、ひとづくりの場です。予測困難な時代の中、これまで取り組んできた「基礎学力の定着」や「子どもたちの実態や地域の特色を生かした学習」を更に充実させることで「自学自習の資質能力」の伸張を図ります。また、創造性や豊かな感性、たくましく生きるための健康・体力を育む、主体的で対話的な深い学びを通して、全ての子どもたちの知・徳・体を一体的にバランス良く育み、生きる力の育成を目指します。

特に、子どもたち一人一人がかけがえのない尊厳を持った個人として自立し、互いを認め合いながら学び合う包摂的な学校づくりを推進していきます。

そして、このような学びや学校づくりを推進していくために、教職員の資質・能力の向上を図る教職員研修を充実させていきます。

「第三次長野市教育振興基本計画概要」より引用

「しなのきプランⅡ」に込めた願い

現在の予測困難な激動の時代の中、教えることが明確であり、子どもが受動的に授業を受ける教育から、「自ら問いをもち、自ら学びを進め、共に育っていくための資質・能力【自学自習の資質能力】」を育む教育への転換が必要であり、子どもたちが社会とのつながりの中で学び、自分の力で人生や社会をよりよくできるという実感をもつことができるように、家庭・地域・学校が連携・協働した教育活動の充実が求められている。

国においては、平成29年に「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」、令和5年に「こども基本法」を施行し、全ての子どもが安心して教育を受け、幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指している。

そこで、本市では、知識及び技能の定着を重視している見方・考え方から脱却し、これまで以上に学習観や子ども観の転換を図っていく。そのため、全ての子どもたちの学習権を保障し、安心できる環境づくりと全ての子どもたちの【自学自習の資質能力】の伸張に向けた取組を推進していく。

子どもたちのウェルビーイングを実現し、子どもたちが自ら学び 共に育っていくことを強く願い、「しなのきプランⅡ」を策定した。

教育を取り巻く社会的背景が大きく変化し、行政や学校だけでは対応できない様々な複雑化・多様化した教育課題が増えています。「明日を拓く深く豊かな人間性の実現」のためには、家庭・地域・学校が連携し、学校だけでなく社会全体で、子どもたちの資質・能力をバランスよく育成することが大切です。



しなのきプランⅡの基本的な考え方

1 プランの位置付け

しなのきプランⅡは、第三次長野市教育振興基本計画の学校教育分野を推進していく際の共通理念とその実施計画として位置付けるもので、令和6年度から令和8年度までの3か年計画とします。

2 目指す子どもの姿

「自ら学び 共に育つ ～ウェルビーイングの実現～」

3 基本方針

しなのきプラン（平成27年度～令和5年度）では、0歳～18歳までの一貫した教育として、学びを繋ぐ学校種間（幼保小中高）の連携による円滑な接続により、「小1プロブレム」「中1ギャップ」「高1クライシス」の解消に取り組みました。

また、長野市の学力観を定義し、「生きる力」をつけるための学力保障に取り組んだことにより、「指導改善サイクルの構築」「道德教育・人権教育の推進」「運動好きな児童生徒の増加」等の成果がありました。令和3年度からのしなのきプランでは、「自学自習の資質能力」の伸張を推進し、「諸調査を活用したPDCAサイクルの定着」「実践研究への支援」「ICTを活用した『個別最適な学び』と『協働的な学び』の推進」「学校の多様性と包摂性が高まる教育の充実」等を支援してまいりました。

さらに、学習指導要領では、育成すべき資質・能力を「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の三つの柱として整理し、子どもにとって「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められています。

そこで、これまでの学習観や子ども観からの転換を図り、**非認知能力を育み、認知能力としての学力等を支える**ことで、伸ばしていきたい【自学自習の資質能力】がより一層伸張されると考えました。

しなのきプランⅡでは、**新たな調査『しなのきFinder』を導入し、子どもの状態を把握し、【子どもを観る・子どもの声を聴く・子どもと対話する】**ことを通して、一人一人に適した環境づくりを推進します。あわせて、**非認知能力を意識した教育活動の工夫や授業改善を推進し、全ての子どもたちの【自学自習の資質能力】の伸張を支援してまいります。**

しなのきプランⅡ 大切にしたい資質・能力

長野市が大切にしたい資質・能力

【自学自習の資質能力】

【自学自習の資質能力】とは、

「自ら問いをもち、自ら学びを進め、
共に育っていくための資質・能力」

※しなのきプランⅡで再定義

認知能力
(数値化できる)

非認知能力
(数値化しにくい)

【自学自習の資質能力】

みらい

きずな

じりつ

【自学自習の資質能力】の観点と行動

【自学自習の資質能力】の位置づけ

3つの観点	9つの行動
未来に向かって 自分を高める 【みらい】	夢や目標に向かって継続して努力する（意欲・粘り強さ等）
	自信をもって行動し新しいことに挑戦する（自信・チャレンジ等）
	自ら問いをもち、自ら学びを進める（自学自習・計画性等）
他者を思いやり つながる 【きずな】	自分の考えを伝え、他者の考えを聴く（コミュニケーション力等）
	自分を受け入れ、他者を尊重する（自己受容・他者理解・共感性等）
	折り合いをつけながら、他者と協働して取り組む（協調性・折衝力等）
自分をよりよい 状態にする 【じりつ】	規範意識をもち、ルールやマナーを守る（規範意識・自制心等）
	自分の感情や行動をコントロールする（自己コントロール・楽観性等）
	経験から学び、前向きに取り組む（回復力・適応力等）

「しなのきFinder」の活用



「しなのきFinder」は、数値化しにくい子どもの状態を測定する調査

世界的に実施されているSDQ（Strength and Difficulties Questionnaire：子どもの強さと困難さアンケート）を取り入れ、学びの土台となる「安心して過ごせる環境」や「周りの人との関係」に関する質問と、「自ら学びを進めるための学習意欲」や「学習スキル」に関する質問により構成された、子どもの状態や非認知能力を測定する調査。

※信州大学教育学部と長野市教育委員会で共同開発

調査の結果を【みらい】【きずな】【じりつ】の3つの観点で数値化し、「学校レポート」「学級レポート」「個別レポート（学校用）」をデータにて学校へ返却し、学校づくりや学級学年経営、児童生徒理解に活用する。また、「個別レポート（家庭用）」を児童生徒・保護者に返却し、自己理解や物事の考え方、今後の取組に活用する。

対象者：小学4年生～中学3年生

実施時期：年2回（春・秋）

実施方法：1人1台端末より入力フォーム（Web）へ回答

実施時間：20～30分

しなのきプランⅡ 重点プロジェクト

【自学自習の資質能力】が伸張し、子どもが自ら学び共に育っていくことを願い、4つの重点プロジェクトを実施します！



未来プロジェクト

発達段階に応じた教育の推進

- 1 主体的に学ぶ探究的な学びの推進
- 2 非認知能力を育むための取組を支援
- 3 民間企業・地域・学校種間の連携・協働を推進



絆プロジェクト

インクルーシブな学校づくりの推進

- 1 互いに認め合い多様な個性が活かされる教育の推進
- 2 一人一人の個に応じた支援の充実
- 3 多様な学びの場における学習保障の充実



安全・安心プロジェクト

安全・安心で健やかな成長を支える環境の整備

- 1 子どもファーストな環境づくりを推進
- 2 自分の身を自ら守るための資質・能力の育成を支援
- 3 命と健康を守るための学習環境の整備



充実プロジェクト

教職員の資質・能力の向上

- 1 「学びたい！」が学べる教職員研修の充実
- 2 先生たちのウェルビーイングの実現を支援
- 3 学校や先生たちを指導主事が手厚くサポート



しなのきプランⅡ 主な取組

【未来プロジェクト】

子どもの状態を大切に、発達段階に応じた教育や、学校・家庭・地域とが連携し、子どもたちの未来を拓く力を育成する教育を推進する。

【主な取組】



- 「しなのきFinder」
- 「【自学自習の資質能力】伸張シート」
- 「GTEC（スコア型英語4技能検定）」
- 「研究指定校による実践研究」
- 「研究委員会による授業研究」
- 「探究的な学び×GIGA（令和の学びのスタンダード）」
- 「1人1台端末の有効活用」
- 「キャリア教育支援懇談会」
- 「NSSP（ナガノスーパーサイエンスプロジェクト）」
- 「N-SAP（ナガノスポーツアクションプロジェクト）」
- 「幼保小接続期カリキュラム」
- 「幼保小連携会議」

【絆プロジェクト】

お互いを認め合い、多様な個性が活かされ、全ての子どもたちが自分のよさを発揮できるようなインクルーシブな学校づくりを推進する。

【主な取組】



- 「発達支持的生徒指導※をベースとした授業改善」
- 「UD化と合理的配慮を視点にした授業づくり」
- 「パラリンピアンや副学籍児童生徒との交流
及び共同学習」
- 「SaSaLANDを中核とした教育支援センター充実プラン」
- 「フリースクール等民間施設団体との連携」
- 「SSW等専門家を含めたチーム支援体制の構築」
- 「考え、議論する道徳教育の推進」
- 「人権教育の視点からの授業づくり」
- 「特別支援教育に関する校内研修の充実」
- 「一人一人の教育的ニーズに応じた支援の充実」
- 「いじめ対応フローを活用した組織的な対応」
- 「いじめ調査委員（外部人材）の派遣」

【安全・安心プロジェクト】

子どもたちの安全・安心で健やかな成長を支える学習環境を整備する。

【主な取組】



- 「長野市子ども議会」
- 「学習チューター事業」
- 「ランチミーティング等による意見交換」
- 「自ら判断し、正しく行動するための
情報モラル教育の推進」
- 「長野市版 新しい水泳学習」
- 「外部機関等との連携による健康教育の充実」
- 「現代的な健康課題を踏まえた各校の
実践的な取組への支援」
- 「実践的な安全防災教育の推進」
- 「学校施設の老朽化対策・長寿命化対策の実施」
- 「今に合わせた学校安全計画や危機管理マニュアル
の見直し」
- 「安全・安心メールを活用した防災・減災」

【充実プロジェクト】

教職員がやりがいを実感しながら研究・研修に取り組む、自らの力量を向上できる環境を整える。

【主な取組】



- 「ニーズに応じた多様で質の高い研修講座の構築」
- 「キャリアステージに応じた経年研修講座の充実」
- 「専門性と指導力向上に向けた重点研修講座」
- 「『自ら学び共に育つ』学校づくり事業
（しなのきプランワーキンググループ【SWG】）」
- 「自学自習の資質能力の伸張に向けた研究委員会」
- 「NSSP（ナガノスーパーサイエンスプロジェクト）」
- 「学校における働き方改革推進のための基本方針の
更新&実施」
- 「外部人材の派遣や関係機関との連携による
業務の適正化」
- 「授業改善をサポートする対話型訪問支援」
- 「学校の諸課題を支援する『さっと学援隊』
による学校訪問支援」